

埼玉県 農林水産業の概要

特徴・取組

埼玉県は周囲を1都6県に囲まれた海のない内陸県で全域が都心から100km圏内、県土面積に占める河川の割合は3.9%で日本一。人口は、約727万人で全国の5.8%を占め全国第5位、平均年齢は45.4歳で全国で6番目に若い。

内陸性の太平洋側気候に属し温暖である。関東地方の主要な社会・経済拠点として将来の更なる発展が期待される。

埼玉県内の事業所数（民営・非農林漁業）は約24万事業所、東京、大阪、愛知、神奈川に次ぎ全国第5位。産業大分類別事業者数では、製造業が全国第4位、卸売業・小売業が6位となっている。

農林水産物では、大消費地である首都圏の中央にある産地という「地の利」を生かし、野菜、米、麦、花き、果樹など多彩な農産物が生産されている。特に、花きは産出額が全国第4位、麦類は6位、野菜は9位と全国でも有数の産地となっている。

また、全国と同様に農業就業者の高齢化が進行しているが、農業生産を維持・発展させていくため、経営力の高い農業経営体を育成するとともに農地の集積・集約化を進めている。

埼玉県は、環境の変化に的確に対応し、農林業・農山村の持続的な発展を図るため、平成28年3月に「埼玉農林業・農山村振興ビジョン」を策定し、農林業の稼ぐ力、農林業に係わる人財力、農山村の地域力を高める取組を進めている。

農林業の「稼ぐ力」を高めるため、多様なマーケット需要に応えられるプレミアム産地の育成やAIなど先端技術の活用による生産性の向上、伐採時期を迎えた森林の皆伐・再造林による県産木材の増産と利用拡大などに取り組んでいる。

また、農林業に係わる「人財力」を高めるため、新規就農希望者の円滑な就農の促進、高い経営力を有する農業法人の育成、先端技術の導入による農業大学校教育の充実などに取り組んでいる。

さらに、農山村の「地域力」を高めるため、中山間地域の未利用農地を活用した地元農産物の高付加価値化や魚の放流と外来魚・カワウ駆除による魚影豊かな川づくりに取り組んでいる。

主な農林水産物

米

東部地域を中心とする早期栽培から、北部地域の二毛作など、地域の条件を生かした米作りが展開されている。



小麦

麦の主要な生産県であり、中でも小麦は、安定した品質に加えて、製粉工場が近いことなどにより高い評価を受けている。



さといも

西部地域を中心に生産され、落ち葉堆肥を活用した特有の土壌で栽培された独特のぬめり・ねばりがある。（収穫量全国1位）



ねぎ

深谷（ふかや）市周辺で生産されるねぎは、深谷ねぎとして有名ブランドとなっている。（収穫量全国2位）



こまつな

中央・東部・西部地域を中心に栽培。露地やハウスにおいて1年中栽培されている。（収穫量全国2位）



狭山茶

西部地域の狭山（さやま）丘陵地域を中心に生産され、「狭山火入」という独特の仕上げ技術により、甘く濃厚な味に仕上がっている。



パンジー

県内広域で鉢もの、花壇用苗もの生産が盛んで、特にパンジーの出荷量は全国の8%を占めている。（出荷量全国1位）



ゆり

北部地域を中心に切り花の生産が盛んで、特にゆりの出荷量は全国の約2割を占めている。（出荷量全国1位）



盆栽

中央・北部地域を中心に生産が盛んで、欧州諸国をはじめ、韓国、中国、トルコ等へ輸出が増えている。



ホンモロコ

全国に先駆け水田を利用した養殖技術を確立。県東部を中心に養殖が行われている。



埼玉県における農林水産物の主な産地

北部地域

【農畜産物】水稲、小麦、ねぎ、きゅうり、にんじん、やまのいも、なす、ブロッコリー、スイートコーン、日本なし、ゆり、肉用牛、乳用牛、豚、鶏卵、植木、鉢物類

東部地域

【農畜産物】水稲、小麦、こまつな、きゅうり、みずな、ねぎ、しゅんぎく、なす、トマト、えだまめ、いちご、日本なし、いちじく、豚
【水産物】ホンモロコ



秩父地域

【農畜産物】ぶどう、りんご、ブルーベリー、きゅうり、さやいんげん、いちご、こんにゃくいも、しゃくしな、肉用牛、切り枝
【林産物】まいたけ、なめこ
【水産物】あゆ、にじます

西部地域

【農畜産物】水稲、かんしょ、こまつな、かぶ、ほうれんそう、さといも、みずな、ちんげんさい、みつば、にんじん、うど、いちご、ブルーベリー、くり、ぶどう、茶、豚、鶏卵、パンジー

中央地域

【農産物】くわい、こまつな、かんしょ、ぶどう、洋ラン、盆栽、植木、切り枝、パンジー、プリムラ

埼玉県の農業（１）

- ・耕地面積は7万4,500haで、全国第16位、うち田が4万1,300ha、畑が3万3,200haである。
- ・農業経営体数は3万7,484経営体で、全国第14位、総農家数は6万4,178戸で8位である。
- ・認定農業者数は5,079経営体で、全国第18位、うち406は法人である。

耕地面積

区分	埼玉県	全国	全国順位
耕地面積	74,500 ha	4,397,000 ha	16
田	41,300 ha	2,393,000 ha	23
畑	33,200 ha	2,004,000 ha	13
普通畑	30,300 ha	1,134,000 ha	8
樹園地	2,880 ha	273,100 ha	31
牧草地	68 ha	596,800 ha	37
参考) 総土地面積	379,775 ha	37,797,524 ha	39

出典：「令和元年耕地面積(7月15日現在)」、「令和元年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省 国土地理院)

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	埼玉県	全国	全国順位
農業経営体数	37,484 経営体	1,377,266 経営体	14
法人経営	508 経営体	27,101 経営体	23
総農家数	64,178 戸	2,155,082 戸	8
販売農家	36,743 戸	1,329,591 戸	14
主業農家	7,518 戸	293,928 戸	18
参考) 世帯総数	2,971,659 世帯	53,448,685 世帯	5
集落営農数	81 集落営農	14,949 集落営農	38

出典：「2015年農林業センサス(平成27年2月1日現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(平成31年2月1日現在)」

荒廃農地面積

区分	埼玉県	全国	全国順位
荒廃農地面積	3,411 ha	279,970 ha	27

出典：「平成30年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区分	埼玉県	全国	全国順位
担い手への集積面積	21,944 ha	2,485,707 ha	27
集積率	29.3 %	56.2 %	32

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(平成30年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。
平成31年3月末の数値である。

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	埼玉県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	50,812 人	1,753,764 人	14
男	29,364 人	1,004,716 人	12
女	21,448 人	749,048 人	14
65歳以上	33,804 人	1,132,072 人	9
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	66.5 %	64.6 %	-
認定農業者数	5,079 経営体	239,043 経営体	18
法人数	406 法人	24,965 法人	26
参考) 総人口数	7,266,534 人	127,094,745 人	5

出典：「2015年農林業センサス(平成27年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(平成31年3月末現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)

令和2年3月1日時点における最新の統計等の公表データを使用

埼玉県の農業（2）

- ・ 農業産出額は1,758億円で、全国第20位、花きは160億円で4位、麦類は11億円で6位、野菜は833億円で9位である。
- ・ 農畜産物の生産状況は、さといも、ゆり、パンジーが全国第1位。こまつな、ねぎが2位である。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農産物直売所の年間販売金額が462億7,300万円で、全国第3位である。

農業産出額

区分	埼玉県	全国	全国順位
農業産出額	1,758 億円	91,283 億円	20
米	370 億円	17,513 億円	17
麦類	11 億円	414 億円	6
雑穀	1 億円	94 億円	15
豆類	1 億円	637 億円	32
いも類	23 億円	1,976 億円	10
野菜	833 億円	23,212 億円	9
果実	61 億円	8,406 億円	34
花き	160 億円	3,327 億円	4
工芸農作物	20 億円	1,786 億円	15
その他作物	15 億円	715 億円	12
畜産	261 億円	32,589 億円	32
肉用牛	40 億円	7,416 億円	34
乳用牛	74 億円	9,339 億円	23
生乳	63 億円	7,473 億円	23
豚	58 億円	6,104 億円	25
鶏	84 億円	8,999 億円	29
鶏卵	83 億円	4,848 億円	22
その他畜産物	6 億円	731 億円	11
加工農産物	1 億円	615 億円	31

出典：「平成30年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「麦類」及び「その他作物」の順位は、秘密の保護上統計数値を表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区分	年次	埼玉県	全国	全国順位
さといも	収穫量	H30 18,100 t	144,800 t	1
ゆり（切り花類）	出荷量	H30 25,600 千本	130,300 千本	1
パンジー（花壇用苗もの類）	出荷量	H30 10,200 千本	123,100 千本	1
こまつな	収穫量	H30 14,700 t	115,600 t	2
ねぎ	収穫量	H30 55,500 t	452,900 t	2
小麦	収穫量	元 22,600 t	1,025,000 t	7
水稻	収穫量	元 154,200 t	7,762,000 t	19
鶏卵	生産量	H30 43,640 t	2,627,764 t	22
乳用牛	飼養頭数	H31 8,440 頭	1,332,000 頭	23
生乳	生産量	H30 52,221 t	7,289,227 t	24

出典：「野菜生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「作物統計」、「畜産物流通統計」、「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区分	埼玉県	全国	全国順位	
農産物の加工	総額	10,558 百万円	941,262 百万円	26
	事業体数	520 事業体	27,920 事業体	22
農産物直売所	総額	46,273 百万円	1,079,020 百万円	3
	事業体数	890 事業体	23,940 事業体	8
観光農園	総額	1,669 百万円	40,159 百万円	8
	経営体数	280 経営体	6,590 経営体	7

出典：「平成29年度6次産業化総合調査」

令和2年3月1日時点における最新の統計等の公表データを使用

埼玉県の林業

- ・ 林業産出額は16億円で、うち栽培きのこ類生産が9億5,000万円である。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が7万4,000m³で全国第41位、まいたけが126 tで10位、なめこが281 tで13位である。
- ・ 製材工場数は54工場で、全国第38位である。

林野面積

区分	埼玉県	全国	全国順位
林野面積	121,311 ha	24,802,277 ha	41
国有林	11,831 ha	7,175,516 ha	38
民有林	109,480 ha	17,626,761 ha	41
人工林面積	59,235 ha	10,203,842 ha	41

出典：「2015年農林業センサス(平成27年2月1日現在)」、「森林資源の現況」(平成29年3月31日現在)

林業経営体数

区分	埼玉県	全国	全国順位
林業経営体数	367 経営体	87,284 経営体	42
法人経営	29 経営体	5,599 経営体	44

出典：「2015年農林業センサス(平成27年2月1日現在)」

林業産出額

区分	埼玉県	全国	全国順位
林業産出額	16.0 億円	4,628.5 億円	40
木材生産	6.4 億円	2,278.7 億円	40
栽培きのこ類生産	9.5 億円	2,256.6 億円	34

出典：「平成30年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区分	埼玉県	全国	全国順位
素材生産量	74 千m ³	21,640 千m ³	41
針葉樹	47 千m ³	19,462 千m ³	42
あかまつ・くろまつ	1 千m ³	628 千m ³	27
広葉樹	27 千m ³	2,178 千m ³	19
まいたけ	生産量 126 t	49,687 t	10
なめこ	生産量 281 t	23,350 t	13
ひらたけ	生産量 27 t	4,001 t	14
乾しいたけ	生産量 11 t	2,635 t	21
生しいたけ	生産量 694 t	69,804 t	29

出典：「平成30年木材統計」、「平成30年特用林産基礎資料」

注：「まいたけ」、「なめこ」及び「ひらたけ」の順位は、秘密の保護上統計数値を表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

区分	埼玉県	全国	全国順位
工場数	54 工場	4,582 工場	38
製材用素材の入荷があった工場数	54 工場	4,551 工場	38
国産材のみ	50 工場	3,521 工場	32
国産材と輸入材	2 工場	792 工場	43

出典：「平成30年木材統計」

令和2年3月1日時点における最新の統計等の公表データを使用

埼玉県の漁業

- ・内水面漁業経営体数は111経営体で、全国第12位である。
- ・内水面漁業・養殖業生産量は4 tで、全国第41位である。

漁業経営体数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
内水面漁業経営体数	111 経営体	4,772 経営体	12

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

水産物の生産状況

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
内水面漁業・養殖業生産量	4 t	56,806 t	41
内水面漁業漁獲量	2 t	26,957 t	35
あゆ	1 t	2,140 t	29
内水面養殖業収穫量	2 t	29,849 t	45
ます類（にじます）	1 t	4,732 t	26

出典：「平成30年漁業・養殖業生産統計」

注：1 順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

2 東京電力ホールディング株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては生産量に含めていない。

埼玉県酒造好適米「さけ武蔵」を使用した日本酒を世界にアピール

埼玉県は清酒出荷量が常に全国上位に位置する酒どころ。「さけ武蔵」はより実需者ニーズに対応するため、埼玉県農林総合研究センター（現埼玉県農業技術研究センター）が平成16年に開発した埼玉県初のオリジナル酒米である。県内には35の蔵元があるが、このうち約半数で「さけ武蔵」を使用した地酒品を製造している。また、平成30酒造年度全国新酒鑑評会では、その「さけ武蔵」で仕込んだ日本酒が初めて金賞を受賞するなど成果も着実に現れている。

令和2年2月、さいたま市に開設したジェトロ埼玉が県酒造組合と連携し、多くの外国人観光客が訪れている川越市から日本産酒類を世界にPRしようと海外の酒類バイヤーを招聘し輸出商談会を開催した。輸出商談会には「さけ武蔵」を使用した地酒品を製造している酒類業者を含む約30社が参加し、自社商品をアピールした。

令和元年の日本酒の輸出額は前年から5%増の234億円と10年連続で過去最高を更新するなど、輸出の可能性が広がってきている。



海外バイヤーとの輸出商談会



海外バイヤーを招聘し酒蔵見学

野生種の芳香をもつ世界初のシクラメンを育成、生産拡大が進展

埼玉県の花き生産は首都圏内に近いという有利な立地を生かし発展し、その生産額は160億円と全国第4位（平成30年生産農業所得統計）となっている。

そのような中、埼玉県農業技術研究センター（旧埼玉県農林総合研究センター園芸研究所）は、量子科学技術研究開発機構と共同研究し、世界で初めて園芸種に野生種の芳香を取り入れた「芳香シクラメン」の育成に成功した。

芳香シクラメンの特徴は、「バラとヒヤシンスを合わせたような芳香」をもち、平成20年に初めて2品種が品種登録され、それ以後現在までに全部で6品種が育成されている。

現在、これらの芳香シクラメンがさいたま市、久喜市、川口市、草加市、狭山市、所沢市等で栽培されているが、今後生産者の意見等も踏まえ、更なる品種の拡大が期待されている。なお、埼玉県では平成28年に「埼玉県花植木農業振興方針」を策定し、シクラメンを含め、ゆり、チューリップ等の切り花、鉢物、苗物、植木の振興を進めている。



埼玉県内で栽培されている代表的な芳香シクラメン